

令和7年7月保健業務主管課長会議事要旨

1 日 時 令和7年7月11日（金）9時30分～10時51分

2 場 所 市役所本庁舎地下1階第8共通会議室

3 出席者

（構成員）

各区保健業務主管課長、課長代理

（事務局）

健康局健康推進部健康施策課長、保健所管理課長

4 議 題

（1）福祉3システムの機種更新について

（2）すかいプロジェクト 「調理」 トレーニング事業について

（3）「アスマイル」の普及、登録者の増加に向けた取組みへの協力について

（4）その他

（1）福祉3システムの機種更新について

【こども青少年局企画部総務課システム管理・DX推進担当課長代理より資料に基づき説明】

福祉3システム（国民健康保険等システム・介護保険システム・総合福祉システム）で現在運用中のサーバ・端末等機器については、ソフトウェアを含む保守サポート期間が令和7年12月末に終了すること、また、本市の標準化全体移行計画に基づき、令和8年1月に機種更新を行うこととしている。

安全な機種更新に向けて開催予定の、現地説明会（福祉局またはこども青少年局の職員が各拠点にお伺いする）について日程調整等への協力依頼と情報提供を行う。

【区】資料の2ページに、機器設置図面を現地説明会で実地確認するとある。説明では、タコ足配線がだめな場合、もしかすると各区の総務課と調整をしてもらわなければならないとの説明があったが、もし増設するようなことになれば、入札等でとても時間がかかるような気がするが、簡単に措置できるようなものなのか。

【説明者】基本的には工事を伴う形になると思う。最初（昨年度）の端末設置希望台数を確認させていただいた際に、工事が伴うという形で必要な場合は工事お願いするという周知はさせてもらっている。全くされていないということであれば、少し厳しいかもしれない。

【区】そこまで意識していないかもしれない。どこの箇所が、どれだけ増設が必要かどうか、今、わかってない。

【説明者】端末の増設が必要なところは、レイアウト（電源・ゾーンボックスの位置）も考えて、ご提示をお願いしたいとして照会させてもらっていた。

【区】今はそういう理解になっているということか。

【説明者】はい。工事が遅れてるということであれば、工事をお願いするという趣旨である。

【区】すでにやっているというスタンスということか。わかった。

【区】現地説明会が1区役所につき1回ということである。区の中でいろいろ担当が跨ってるが、この日程調整の事務連絡はどちらの担当に送るのか。

【説明者】窓口サービス課、保健福祉課とそれぞれに連絡しようと思っている。会議室等をとって各課の方に出席してもらおうということになるので、個別に調整させてもらうことになると思っている。総務課に取りまとめてもらうという形は考えていない。また、各区の担

当の方と直接調整させてもらいたいと思っている。

【区】保健担当ではなくて保健福祉課の方にいらっしゃると思ったらいいか。

【説明者】そうである。

【区】保健福祉課長などと調整をして、必要なメンバーが入るように区の中で調整しておいてほしいということか。

【説明者】はい。

(2) すかいプロジェクト 「調理」トレーニング事業について

【福祉局高齢者施策部介護予防推進担当課長より資料に基づき説明】

すかいプロジェクト事業のひとつである、「調理」トレーニング事業の実施にあたり、各区食生活改善推進員、区役所（栄養士）を共催者とし、区役所栄養指導室等での調理教室を検討している。

事業内容、今後のスケジュール等にかかる検討状況について説明を行う。

【区】栄養士の会議で一度説明しているのか。栄養士から調理トレーニングがあるという話があり、その際には各区の栄養士は特に何もすることはないというような説明を受けたという報告を受けたが、どういう説明があったのか教えてほしい。

【説明者】4月の行政栄養士連絡会で私自身から説明した。説明は、すかいプロジェクトを始めますというもの。覚えておられるかわからないが、4月の課長会でも、すかいプロジェクトをやりますと。それで、「知る」「始めてみる」とか「楽しむ」とかという4項目があって、それにぶら下がってる事業の概要が記載されていたと思うが、それを資料として出して、各事業の細かい説明はしてない。ただ調理というところのワードがあって、これについては、こういった観点でやろうと思っている、その時点では何も決まっていなかったもので、食推協さんであるとか民間事業者であるとかというところの細かい話は別にしていない。ただ今後、その事業をするにあたって、ご協力をお願いすることもあるかもしれないという話はさせてもらった。ご質問としては全区で実施するのかといったニュアンスの話をされたと思うが、それもまだ全然その当時は決まっていなかったもので、民間事業者を活用して、全区全市民の方を対象に事業をしようと思っていますというような答えはした。それ以上の説明はしてないので、特に調理トレーニング事業をこうだという説明は、先ほど言ったように7月28日が最初になるのかなと思っている。

【区】その時に説明されたのは民間事業者の分がメインだったような感じで、栄養士は、その時は自分たちがこういうことになるというのは、あまり理解されてなかったという感じか。

【説明者】恐らくそうである。

【区】食生活改善推進員との調整は、すべて局ですということでもいいか。区の栄養士が間に挟まるということはないということでもいいか。

【説明者】調整は福祉局がするが、各区の食推協さんと栄養士さんが、日頃業務を一緒にされていると思うので、ある程度、当然関係性はできていると思うが、当該区で実施するかしないとかという後の調整は、当然話はしていただかないといけないかなと思っている。ただ、この事業を実施するというのは福祉局が説明する。

【区】実施するかしないかは区で判断することか。

【説明者】そうだと思っている。食推協さんの判断もいるし、区の判断もいるかと思っている。だから一方はできるが、一方ができないとなれば、もうできないと思っているし、両方ができるとなる区でないとできないと思っているので、その話はしていただこうかと思っ

ている。

【区】当日の人員で、栄養士1名というのがあって、栄養士の対応が困難な場合は地域包括ケア推進課1名となっているが、栄養士がいなければできない事業、栄養士が参加できない事業ということではないか。

【説明者】いや、食推協さんがいなければできない事業と思ってもらったらいいと思う。栄養士は教室のおさえとか、鍵の開け閉めとか、講話だけを思っている。講話も時間的に無理ということであれば、こちらの課の職員が行って、担うってことを思っている。

【区】場所のおさえと開錠と施錠であれば、別に栄養士さんでなくてもできると思うが。栄養士である必要は特に無いという感じで、区として事務員が場所のおさえと鍵の開錠、施錠ができればOKということか。

【説明者】そこまでは今考えていない。事務員にやってもらうこと想定していなかったのも、今すぐ、「そうです」とは言えない。

【区】資料のP7で、食材の購入について、食材費参加者自己負担で、食推協さんが準備することになっているが、申込者からどのようにお金を徴収して、食推協さんとの精算をどうするかというような流れを、どのように考えているのか。申し込んでいても当日キャンセルなんかがあった場合に、材料は買っているが、お金がもらえていないというような場合が生じてくるのではないかと、そこを聞きたい。あと、3番のところで、食材以外で必要なものは、教室開催区あて予算配付を行うということで、結局、区役所が経費執行するということを考えておられるが、それが食材等を含んでの、精算的なところを予算配付されようとしているのかどうか、そのあたりを教えてください。

【説明者】当日使う生鮮食品代については、参加者の方に自己負担をしてもらおうと思っている。参加者の方は、3回出ていただくということが一応肝かなと思っているが、3回分を基本的に全額前払い、1回目に払っていただこうかなと思っている。払ってしまえば、参加しないともったいないという考えが多分巡るので、必然的に3回、こういった教室に行ってください、習慣づけていただくということがまずあるので、1回目に3回分払っていただきたいなと思っている。それは1回目に受け付けをして、自己負担を徴収する。それは食推協さんにやってもらおうと思っている。担ってもらいたいというのは、また説明させていただきたいと思っている。予算配付であるが、これも配付することによって、配付執行するとかという、業務負担が出てくるところは少し置いていただいて、予算配付について、配付する用途については、いわゆるその備品であったりとか消耗品だったりとか、あとその他の調味料等、例えばお米であったりとか、そういったものを考えている。基本的に各区の調理室に備え付けてあるものを使用することは考えていないので、この当該予算配付したもので、そういったものなども購入してもらったりとか、補修してもらったりとかいうことをしてもらえたらありがたいと思っている。

【区】食推協さんとの話次第であるが、徴収して精算も食推協さんか。例えば、初めに予算決めてとか、1回1,000円とやってやっていると、実際やってみたら食材買って、お金が余っているというような状態が出てきたときも食推協さんの方で、その精算については、参加者に例えば還元するとか、何か、そこがゼロになるように何かを出してあげるとかというように、仕切ってもらえるというようなことでいいのか。

【説明者】キャンセルされる方も当然いるかもわからないし、そこを本人さんに返すということまでは、今考えてはいない。当然不足が出れば、この配付するお金の中で精算というか補っていただくとかということかなと思っている。会計的なことは食推協さんの中でやっ

ていただく必要があるのかなと思っているので、不足や余剰が出ないような調整を鑑みながらやっていかないといけないと思っている。詳細のたてつけについては、また今後、考えさせてもらいたいなと思っている。

【区】 これを実施するとなったときの周知というのは、募集は局がするということだが、実際はどんなイメージを持っているのか。区役所がチラシを撒いたりとか、声かけしたりとかが出てくるような気もするが。この事業をやるにあたっての広報紙とか、何かそういうものも考えているのかどうかを知りたい。

【説明者】 広報・周知は福祉局で対応するつもりである。9月が高齢者福祉月間になるので、各区の広報紙の市のページでこの調理トレーニングについて、今、政策企画室と紙面調整しているので、福祉局の方でそういった広報をしようと思っている。男性が何のきっかけもなしに、この教室に参加すると、やはり難しいのが現実と思っているので、各区の社協さんであるとか、包括とか、生活支援コーディネーターとか、というところで、ご自身に携わっておられる、こういったことに興味を持ってる方とか、あと、「福祉局がこういうことやっているから参加しませんか」といったことをやってもらわないと、なかなか集まらないと思っているので、そこは今、各関係機関と調整はしている。

【区】 社協には、いろいろ福祉局からお願いしていて、何か始めるときもお願いしている。そのときに区の入り方について、何か俺らばかりやらされてみたい感じがあって、区役所は何もしないというのがあって、その辺はわかりやすいように流しておいて欲しいと思う。

【区】 公募すると、意識の高い人ばかりが来て、実際本当にこういう事業に参加して欲しい方に届かないというか、今言われたように、区社協さんとか包括さんで把握している、こういうのにぜひ参加して欲しいというような方を、公じゃなくて集めて開催するというのは可能か。

【説明者】 なかなかピンポイントで、引っ張ってくるって難しいところもある。区の広報誌は高齢者の方が結構読まれるので、そこで一旦届けばいいなと思っている。ただ届くけども、自分で応募しようとはまでは、多分思わないところがあったりとか、なかなか広報しても集まらないのではないかなと思っている。そこを各相談支援機関などをお願いしようかなと思っているが、ただ、それを福祉局の方から区社協さんとか包括とか、コーディネーターに引っ張ってきてもらってや、集めてきてもらってというところまではなかなか、言えない。「すべてこの10人かちっと集めてきてください、この人を参加してもらいます」というようなことは、なかなか、100点満点のことはできないと思うが、包括とか、社協と調整している段階なので、できる限りそういった方を、そこから集めていければいいのかなと思っている。当然、区役所さんに、広報紙に調整してもらったりとか、当然ビラ配ったりとかと思ってないが、こういった事業を福祉局がやっているというところを思ってもらって、もし機会があるのであれば宣伝などをお願いしたい。

【区】 今地域で健康講座とかに皆さんが出向いていて、地域の中でも男性の料理教室をやってみたいという声が上がってる地域もあって、例えばそういうところに、もう10人集まるのでこの事業を活用するということも可能か。

【説明者】 要件や対象の方、我々が思ってるところに合えば、参加いただければありがたい。

【区】 必ずしも公に広報しなければならないものでもないか。

【説明者】 当然、広く知っていただいて、いろんな方に参加いただくことが介護予防に繋がるとしているので、公の広報は当然させてもらいたいと思っている。ただ、そういった地域

でそういった方がいるということがあるのであれば、お声掛けしていただいて、福祉局がこういう事業をやっているというような宣伝をしていただければありがたい。

【区】食推協さんは、毎月、生活習慣病予防の講習を一緒にやっていただいて、独自にもいくつかやっておられたり、社協と連携してされているので、もし、これ以上無理となったとして、でも地域ではニーズがある、栄養士も別に大丈夫ですよとなった場合に、この事業は成り立たない、食推協さんがだめということで。事業者さんに、一方で委託されるというところで何か事業者さんがそれごと来てくれるとか、そういうことというのはありえないのか。

【説明者】地域に来ていただくのは難しい。民間事業者さんも、当然拠点を持っていて、そこで教室を開催される。そこに参加されるということなので、その出張であるとか派遣とかということになると、たてつけが変わってくる。いただいた意見は参考にさせていただいて今後の展開でまた考えていければと思っている。

【区】すかいプロジェクトの取り組みとしての形になるので、3ヵ年を前提として考えているとは思いますが、今年度どこまでやろうとしていて、目標はどれぐらいの数値のところを持ってこうしてるのか。数値について、各区で頑張ることができる範囲も限られてると思うので、その人数だけでいいと思ってるのか。例えば、今年度は事業者の分だけでやって、そこであったノウハウとかを生かして、来年度に各区で取り組むという手もあると思うが、そのあたりはどうか。

【説明者】数字で言うと、24区の方すべてに当然門戸を開いて、参加してほしいと思っているので、当然究極でいうと、24区で展開できればいいと思っている。その3ヶ月のコースで、定員が10名程度なので、それが何回のコースができるかわからないが、年間であれば、3ヶ月の1回コースなので、多ければ4回できる。それが24区なので、必然的にその数が参加者になると思っている。合わせて事業者さんの部分も同じように3回コースに変えるとそういった人数が出てくるので、それがもう計画の人数かなと思っている。当然、今年度は下半期から開催するので、1回できればいいかなと思っている。各24区さんがすべてできるというのは、我々も思っていないので、ご協力いただける区があれば、できるかなと思っているので、実績は多分そういうことかなと思っている。もともと、計画自体は民間事業者、24区カバーしていただきたいなと思っているが、それが物理的に難しいところがあるので、今回、説明させていただいている各区での食推協さんのご理解、ご協力いただくような事業展開をさせてもらおうかなと思っている。これも始めてみないとわからないところもあるが、すかいプロジェクト実施年度である、7年度からご協力いただこうと思っている。

【区】まずは取り組まないといけないというのは、よくわかるが、こういう枠だけ作って、あとはやってくださいという形になってしまうと、おそらく内容とかもバラバラになってしまうし、頑張って取り組んでも、多分意識高い系の方が10数人ぐらいは最初ドンと来るのだけれども、2年目3年目以降、新しい人が来るともなかなか考えにくいと思われるので、そういう理屈をやっぱり内容というか、それこそ食推協さんが取り組みたくするような内容の部分を作ってもらって、それを段階的にやっていただくというふうになっていけば、我々としてもすごく取り組みやすくなる。その辺りのことを考えていただければと思う。

【区】今、いろんな問題点が出たと思うが、要綱のリーガルチェックはかけるのか。

【説明者】これは要綱でなくて実施要領である。特にリーガルチェックはかけてない。

【区】会費の徴収の仕方、区の職員の準備の準備の仕方。食推さん、地域団体の方が取り組ま

れる事業、そこら辺の住み分けはこのプログラムの担当業務の中で、クリアできているとの考えか。

【説明者】はい。この要領に基づいて大阪市の事業として、事業を分け、明文化して実施いただくということを考えている。

【区】事務が鍵だけを開けて、要は会場貸し、というところである。それで協賛というたてつけで本当にいいのか。区役所とか、保健福祉センターとして、例えば団体さんが行事するというところで、共催という名前を入れるから区の事業だという考えであるということか。良いことだと思うが、いろんなところをクリアしてもらう方がいいのではないかと個人的には考える。

【事務局】皆さんいろんなご意見とか質問とか、たくさん思っていると思う。例えば光熱費をどうするのかや事故起こったときの保険など、いろいろ思いがあると思うので、事務局で取りまとめを行う。各区からの質問や意見を照会し集約して福祉局に繋ぐこととしたい。

(3) 「アスマイル」の普及、登録者の増加に向けた取組みへの協力について

【福祉局高齢者施策部介護予防推進担当課長より資料に基づき説明】

今年度より、介護予防の更なる推進の取組みとして、「アスマイル」登録者数の増加を重点的に実施していくこととしており次のような取組みのご協力をお願いしたい。

➤ 「区民まつり」、「周年記念式典」等のイベントでのアスマイル周知ブースの設置、登録会の開催。

➤ 区独自での高齢者向け健康づくりイベント（ウォーキングラリー、スポーツイベント、健康展等）の企画・開催

【区】各区の区民祭りなどでの特設ブースの協力と言われたが、これは区の方の担当部署の方で、そういう直接ブースを設置するところがあればお願いするということなのか、何か局で特設ブースを設置して啓発されるということへの協力なのか、どういう協力なのか。

【説明者】想定としてはどちらも思っている。基本的にそういったところで、もしスペースやブース設置が可能であれば、当然、福祉局がさせてもらって、当日、登録会とか周知をさせてもらいたいと思っている。これはもう当然マンパワーとかに限りがあるので、なかなかそこまでは難しいなというところがあれば、同じように、区でもしブースが設置できるとか、ビラをまいたりとか、登録会とかも、もしできるということであれば、区独自でお願いしたいというところもある。

【区】区の健康まつりに、このポイントが付与されるというのも、一緒にPRしようと思っているが、健康まつりの方は自分たちで企画してるので、ブースももちろんできる。そこで登録のお手伝いとかもしようかなと思っているが、区民まつりは保健福祉を通常の他のいろんな癌検診などの啓発でブースがいっぱいになっている。可能であれば局の方から区民まつりの実行委員会とかに申し込んで、ブースの確保をしてもらって、高齢者の方はその登録にすごく時間かかるので、こちらもなかなか手を取られると余裕がなくて、一旦それでもらって、もうブース的にもうこれ以上無理と実行委員会の方であれば、何とかうちの中で、それこそビラぐらい配れるのかなと思うが、もしかしたら可能であれば、局に来てもらって、ブースで周知活動をされるっていうことも考えておられる思っているのか。

【説明者】基本的には局の方させてもらおうかと思っている。

【区】区民まつりでのブースというのは、もう締め切りも終わっているなので、するのであれば、

区と保健担当としてブースは確保しているので、その一角でということになっていくと思うが、お年寄りの方すごく登録するのに時間がかかる。今、チラシも作られているが、アスマイルを入れるのにどうしたらいいかということがほぼ書かれていない。区役所として欲しいのは、アスマイルを登録するにはという、一から細かく書いてあるチラシがいただきたいというのが、正直なところである。できれば局の方で事業者さんお願いしてもらって、事業者さんの方できっちり細かくしていただけるのが一番ありがたいと思っている。アスマイルをまず、アプリを携帯に入れるにはというところの、本当にかゆいところに手が届くものを作っていただけたらありがたいと思っているので、そこをよろしく願います。

【説明者】アスマイルをゼロから 100 まで登録完了までやろうと思ったら、一対一で 20 分から 30 分かかる。すごくややこしい。特にアンドロイドはすごくややこしい。福祉局で操作手順を一から最後まで一応作った。ただ、やはり対面でやっていかないと難しいところがある。区の職員さんも含めて、できる限り、アスマイルの登録を覚えていただきたい。簡単にはできないが、職員さん向けの説明もさせてもらいたいなと思っている、何かそういったことができる機会があって、どんどん広げていきたいなと思っているので、そういったことも少し頭の片隅に置いていただければ本当ありがたいと思っている。

【区】思いをこの数行だけで表されるのは非常に厳しいものがあると思う。ホームページを見たら載っているが、それを見ながらというのはなかなか難しいので、それをこのチラシやポスターに落として、例えば、高齢者の方が持って帰ってご家族の人にそれを見せたらわかるような、チラシみたいな形になっていたら、お配りしたりとかもできる。また、ポスターで大きくなってたら、ポスターを見せながら順番にお話させてもらうこともできると思う。本当に時間がかかって大変なので、それをフォローしてもらえようものを提示いただけるとありがたいと思う。

【説明者】手順だけで、30 ページぐらいある。当然、紙ベースも用意するし、イベントに我々が行くときは、手順書持って配ったりとか見ながら、登録してもらったりしているので、ある程度はできる手順書にしてるつもりである。もしよければ、各区や相談支援機関の窓口到手順書をおいてもらったりとかということも考えているので、それを見ながらご協力いただければありがたいなと思っている。

【区】今、ブースを出せないかという依頼をされてるのかと思うが、例えば、申し込みをするのに、いつまでにどこ宛に、回答様式はこれとか、そういうものが全くついてない。電話での依頼なのか、その辺りがわからない。単に周知するだけでいいというお願いであれば、それでよかったのかと思うが、やってほしいと思ったら、電話での依頼だったと思ったらいいのか。

【説明者】いつ健康展をやるとか、例えば、社協さんと区との共催イベントをいつやるからとか、というのでアスマイルの登録の周知のブースをつくるとかというようなことを教えてもらいたい。

【区】できれば、何を答えて欲しくて、両方がないならないかというときには、日にちはこれで、どういったブースが可能とか、そちらで知りたい情報の回答様式のようなものを用意してもらう方がこちら、これは無理であるとか、これはできるというのが回答できるので、できたらそのようにして、依頼してもらった方がありがたい。

【説明者】まだ、調査とか正式な依頼とかいうところは、今後させていただこうと思っている。

【区】区民まつりになってくると、間に合わないので、来年のことであれば、それでいいと思う。

【説明者】催物やイベントを開催されるというところで書かせてもらっているので、具体的にいつ何あがるかというところまで教えていただきたい思っている。そこで、できる限り協力いただきたいと思っている。

【区】１点確認であるが、今後のアプローチで、各区連長会等での周知及び地域回覧依頼ということだが、その地域の回覧版を回していただくにあたって、保健業務としては、送付等、一切関わらないということでもいいか。

【説明者】大丈夫である。